

那珂川を見下ろす首長墓

国指定
史跡

水戸市 愛宕山古墳

あたごやまこふん



那珂川流域では最大規模、全長140mの前方後円墳。後円墳頂や裾部に大型の円筒埴輪や3~4列にならぶ埴輪列があったといわれている。5世紀前半。墳頂部に愛宕神社があり、火の神様である火之迦具土神（ひのかぐつちのかみ）をお祀りしている。

〒310-0054 水戸市愛宕町 10
P有（愛宕神社の駐車場）
 ▶最寄のバス停は「盲学校前」約 448m

線刻壁画のある八角形墳

水戸市

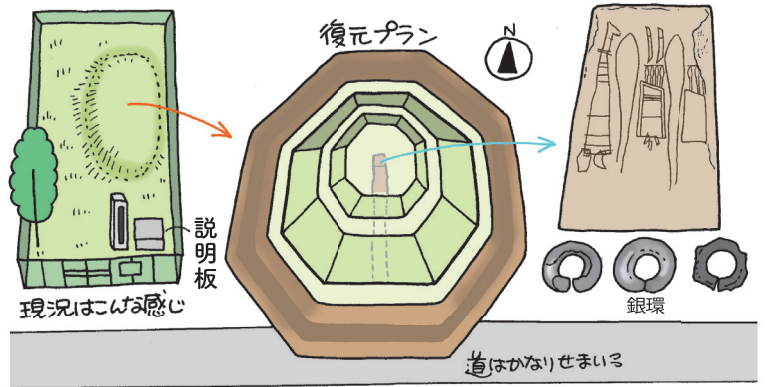
国指定
史跡

吉田古墳

よしだこふん

墳丘は削平されているが、発掘調査で横穴式石室の奥壁に武具の鞍、刀子、鉾などを線刻で描いた全国唯一の八角形墳であることが明らかとなったよ。銀環のほかに鉄層が出土した記録があるけれど、現在残っているのは銀環だけなんだ。水戸市埋蔵文化財センターに展示されているよ。7世紀中葉。近くに2号墳もある。

〒310-0836 水戸市元吉田町 345 〇無
 ▶最寄バス停は「吉田古墳入口」約 143m



銀環と壁画のレプリカが、水戸市埋蔵文化財センターに展示されている

はに丸タワーが立っている

水戸市

牛伏古墳群

うしぶしこふんぐん

4~7世紀にかけてつくられた16基の古墳、前方後円墳が密集しているのが特徴の古墳群。くれふしの里古墳公園として整備され、近くの杉崎コロニー古墳群からみつかった埴輪をモデルにしたはに丸タワーが立っている。出土品は内原郷土史義勇軍資料館に展示されている。

〒319-0311 水戸市牛伏町 201 番地 -2
くれふしの里古墳公園 **P有**



▶最寄りのバス停は「大足（おおだら）」約 988m



Photo by/
Takehiko Kawaguchi